

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31300	養護老人ホーム委託事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約
	種別			款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健	
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	総計画	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円	
		2953		目	3	老人福祉費		施策概要	1			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上で居宅における生活が困難な方	どうしたいのか(意図)	身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム)等に措置し、安定した日常生活を送れるようにする。	概要	事業の実施手法(手段)	・入所措置が必要とみなされる方を老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を依頼する。 ・入所措置判定者を養護老人ホーム等に入所委託する。
	対象者数	60人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	居宅において養護を受けることが困難となった高齢者で入所措置が必要とみなされる方に対して、老人ホーム入所判定委員会において、入所措置等の要否の判定を依頼。入所措置の判定者を養護老人ホームに入所委託した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	措置入所者数(延べ・ショート含む)	人	目標値	696	684	684	684
				実績(見込)	674	678	680	
	算出根拠等			達成率(%)	97	99	99	
	活動指標	措置入所判定件数	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	12	6	10	
	算出根拠等			達成率(%)	120	60	100	
	活動指標	新規措置入所者数	人	目標値	10	10	10	10
				実績(見込)	9	7	10	
	算出根拠等			達成率(%)	90	70	100	
	補足				目標値			
		算出根拠等			実績(見込)			
			達成率(%)					
			目標値					
算出根拠等			実績(見込)					
			達成率(%)					

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	生活環境の変化や高齢者福祉サービス、在宅及び介護施設サービスの利用等により、養護施設への入所のニーズは、減少傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・居宅において養護を受けることが困難となった措置が必要な高齢者を把握し、老人ホーム入所判定委員会の結果により入所措置を実施している。 ・入所者が高齢化し、要介護(支援)者が増加しているため、高山八寿会と連携しながら施設で対応できない入所者については特別養護老人ホームへの入所に切り替えを行う。	
次年度の実施方針	○維持・改善	・老人福祉法に基づき、身体、精神、環境上及び経済的理由により、居宅において養護を受けることが困難となった高齢者を保護施設(養護老人ホーム)等で安定した日常生活を送れるよう措置を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
○維持・改善	(担当課評価に同じ)	
拡大		
縮小		
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	143,878	145,919	147,772	149,960
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	213,469	215,220	216,041	219,240
	受益者	措置入所者数(述べ)	(B)	674	678	684	684

5 予算編成(Action2)

事業内容	・老人福祉法に基づく養護老人ホーム等への入所委託措置費	要求のポイント	養護老人ホームへの入所委託に要する経費を計上	事業実施の課題
------	-----------------------------	---------	------------------------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
財源内訳	歳出(千円)	147,772	149,960	2,188	147,781	147,781	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	28,800	29,682	882	33,693	33,693		
	一般財源	118,972	120,278	1,306	114,088	114,088		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31305	高齢者在宅生活支援事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約	社会福祉の充実を目指し、サポーターやボランティアの育成、潜在的保育士・看護師(結婚などで家庭に入っている有資格者)の登録制度などを進めます。
	種別			款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健		
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円		
				目	3	老人福祉費		施策概要	1				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の市民	どうしたいのか(意図)	支援が必要な高齢者に対し、日常生活に関する支援を行うことで、在宅での生活を継続することができる。	概要	事業の実施手法(手段)	・介護保険の短期入所サービスの支給限度額を超えた利用に対する利用者負担の一部償還払いや、簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員を派遣による援助など、支援が必要な高齢者に対する介護保険サービス以外の日常生活の援助を行う。
	対象者数	26,737 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	①短期入所付加サービス:ケアマネを通じた申請や該当者からの直接の申請を受けて助成 ②軽度生活援助:簡易な日常生活業務に対するシルバー人材センター会員を派遣による援助 ③日常生活用具:要介護高齢者及び高齢者世帯等に、日常生活用具を給付又は貸与 ④外国人福祉給付金:無年金の外国人高齢者等に福祉金を給付 ⑤寝具洗濯乾燥:寝具の衛生管理が困難な高齢者等に寝具の洗濯乾燥消毒サービスを提供 ⑥社福減免:社会福祉法人が行う介護サービスを利用する低所得者の入所費用自己負担の一部を助成 ⑦低所得者負担軽減:障がい者施策によるホームヘルプサービスを利用して低所得者の障がい者が、介護保険制度利用者負担の一部を助成						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果指標	短期入所付加サービス実利用人数	人	目標値	39	36	36	40
	算出根拠等	利用実績	実績(見込)	34	23	21	
成果指標	軽度生活援助事業実利用人数	人	目標値	55	60	65	65
	算出根拠等	利用実績	実績(見込)	63	66	75	
成果指標	電磁調理器、火災警報器、自動消火器の給付件数	件	目標値	42	42	9	9
	算出根拠等	給付実績	実績(見込)	6	2	6	
成果指標	老人電話、シルバーカーの新規貸与件数	件	目標値	8	7	7	7
	算出根拠等	貸与実績	実績(見込)	4	11	10	
成果指標	外国人高齢者等福祉金給付実人数	人	目標値	4	2	2	2
	算出根拠等	給付実績	実績(見込)	2	2	2	
成果指標	社会福祉法人による介護保険サービス利用者負担額軽減認定者数	人	目標値	37	31	25	73
	算出根拠等	認定実績	実績(見込)	25	19	25	
補足			目標値	37	31	25	73
			実績(見込)	25	19	25	

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	①短期入所付加サービス:ケアマネが必要と認めた給付限度の超過となる短期入所生活介護サービス利用者で、支援を必要とする方をさらに積極的に把握する必要がある。②軽度生活援助:在宅を継続するためには、どのような支援が必要となるのか検討する必要がある。③日常生活用具:高齢者世帯や独居高齢者が増加し、安全に生活できるよう、ニーズに応じて事業を継続する必要がある。④外国人福祉給付金:対象者が増加することはないため、減少が避けられない。⑤寝具洗濯乾燥:利用者が少ない要因を分析しながら、実施していく必要がある。⑥社福減免:⑦低所得者負担軽減:助成が必要か調査を継続する必要がある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	①短期入所付加サービス:ケアマネ会議等での制度の説明等、ケアマネジャーへの周知を行う。②軽度生活援助:ケアマネジャーへの周知を行う。③日常生活用具:給付対象となる日常生活用具の見直しを検討する。④外国人福祉給付金:救済すべき無年金の外国人・障がい者を漏らすことのないよう、福祉課と連携して業務を進める。⑤寝具洗濯乾燥:ニーズが少なく利用者が固定化していることから、廃止を含め見直しを検討する。⑥社福減免:事業者に対し、対象者の申請支援を要請する。⑦低所得者負担軽減:対象者が限られているため、漏れないよう、福祉課と連携していく。	
次年度の実施方針	○維持・改善	①短期入所付加サービス:継続して実施する。②軽度生活援助:シルバー人材センターを活用して、住民相互の支え合いと、虚弱高齢者が在宅で自立して生活できるよう支援を進めていく。介護予防給付の見直しに合わせ、支援が必要な高齢者の在宅サービスの在り方を検討する。③日常生活用具:給付対象となる日常生活用具の見直しを検討する。④外国人高齢者等福祉給付金:救済すべき無年金の外国人・障がい者を漏らすことのないよう、福祉課と連携して業務を進める。⑤寝具洗濯乾燥サービス:ニーズが少なく利用者が固定化していることから、廃止を含め検討する。⑥社福減免:入所に係る低所得者の負担を軽減するために、引き続き事業を継続する。⑦低所得者負担軽減(障がい者等訪問介護利用):利用者死亡等により不在のため事業を廃止する
	○維持・改善	・短期入所付加サービス、寝具洗濯乾燥、低所得者サービス利用負担軽減:担当課評価と同じ ・軽度生活援助:事業効果の検証を行いながら、事業を実施する必要がある。 ・日常生活用具:高齢化の進展に伴い、高齢者世帯や独居高齢者が増加し、安全に生活できるよう、ニーズに応じて事業を継続する必要がある。 ・外国人高齢者等福祉金:救済すべき無年金の外国人・障がい者を漏らすことのないよう、福祉課と連携して業務を進める。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	3,313	3,408	4,805	5,342
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	24,724	28,165	34,568	24,731
	受益者 実利用人数	(B)	134	121	139	216

5 予算編成(Action2)

事業内容	・介護保険の給付限度額を超えて短期入所サービスの利用が必要な方への助成 ・支援を要する高齢者のための軽度の生活支援委託 ・給付対象品の購入費に対する助成 ・貸与対象品の購入・貸与 ・無年金の外国人高齢者等に対する福祉金の給付 ・高齢者世帯の寝具洗濯乾燥サービスの委託 ・社会福祉法人による利用者負担額等の軽減分の一部助成	要求のポイント	独居や高齢者のみの世帯の増などによるサービス利用者の増	事業実施の課題
------	--	---------	-----------------------------	---------

事業費(人件費除)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	4,805	5,342	537	4,405	4,405	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金	705	750	45	600	600		
その他	200	241	41	200	200		
一般財源	3,900	4,351	451	3,605	3,605		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31310	外出支援事業費	予 算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画		市長公約
	種別			款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健	実施計画事業	
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円		
	2953			目	3	老人福祉費		施策概要	1		住み慣れた地域での生活の支援		

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	公共交通機関利用困難な支所地域の要支援・要介護認定者等	どうしたいのか(意図)	・高齢者が在宅で安心して自立した生活を維持できるよう、受診や在宅福祉サービス利用に必要な外出を支援する。 ・高齢者等の日常生活をサポートするため外出を支援する。	概要	事業の実施手法(手段)	・福祉有償運送により、支所地域在住の単独では一般の公共交通機関の利用が困難な要支援・要介護認定者等に対し医療機関や在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を行う。 ・「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券の購入に対し、その費用の一部を補助する。
	対象者数	26,737 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	外出支援:利用対象者に対して、当事業の委託先である高山市社会福祉協議会が、通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎を実施した。 地域乗合バス助成:「高齢者バス優待乗車券(悠々手形)」2か月定期券(4,000円)の購入に対し、その費用のうち2,000円の補助を実施した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	活動指標	登録者数	人	目標値	520	560	560	560
				実績(見込)	625	508	511	
	算出根拠等			達成率(%)	120	91	91	
	成果指標	延べ利用者数	人	目標値	12,900	13,500	13,500	13,500
				実績(見込)	13,151	12,162	12,000	
	算出根拠等			達成率(%)	102	90	89	
	成果指標	延べ回数	回	目標値	9,000	9,500	9,500	9,500
				実績(見込)	9,106	8,637	9,000	
	算出根拠等			達成率(%)	101	91	95	
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
	算出根拠等			目標値				
	算出根拠等			実績(見込)				
	算出根拠等			達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	外出支援:支所地域と高山地域の福祉有償運送に係る利用者負担の均衡について検討が必要があるが、支所地域と高山地域では、医療機関等が遠方であるなど公共交通等の実情を考慮する必要がある。 地域乗合バス助成:遠距離利用の高齢者などの利用ニーズは高いが、利用者が固定される傾向にある。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	外出支援:当事業の利用目的範囲及び利用者負担、委託内容の検討する。 地域乗合バス助成:関係機関と連携し、等事業のPRを継続する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	外出支援:利用目的範囲及び利用者負担、委託内容の検討。 地域乗合バス助成:今後も利用者ニーズは高く、高齢者等の外出や社会参加を促進するため、当事業を継続する。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	外出支援:支所地域に居住する者だけが対象となり地域格差があるため、事業を見直す必要がある。 地域乗合バス助成:担当課評価に同じ
	拡大	
	縮小	
廃止検討		

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額
	歳出(千円)		(A)	21,638	20,068	24,400
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,512	1,515	1,660
	受益者	延べ利用者数	(B)	14,314	13,245	14,700

5 予算編成(Action2)

事業内容	・福祉有償運送による通院等、居宅と在宅福祉サービスを提供する場所等への送迎委託 ・高齢者バス優待乗車証悠々手形の購入費に対する助成	要求のポイント	高齢者の外出支援に要する経費を計上	事業実施の課題	・支所地域と高山地域の利用者負担の公平性の確保
------	--	---------	-------------------	---------	-------------------------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		24,400	23,794	△606	23,400	23,400	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	24,400	23,794	△606	23,400	23,400		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31315	高齢者いきがいきづくり推進事業	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画		市長公約	市民が主役のまちづくりにおいては、高齢者世代(65歳以上)という呼称を「生涯現役世代」という呼び方に改革し、様々な活躍の場を提供します。
	種別			3	民生費	4		福祉・保健	実施計画事業		老人健康農園運営事業			
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3		高齢者福祉	H27実施計画額	千円		
	2932			目	3	老人福祉費		6	地域や社会参加の推進					

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	65歳以上の市民	どうしたいのか(意図)	・余暇を利用した野菜の栽培や他の農園利用者とのふれあいを通じて、健康で明るく生きがいのある生活を送れるようにする。・高齢者等の健康増進や心身のリフレッシュを図る。・地域を基盤とした老後の社会活動の円滑な展開とまちづくりへの高齢者の参画の促進。・敬老の日にあわせて祝品を配布し、高齢者の長寿を祝う。・高齢者福祉全般に関する事務	概要	事業の実施手法(手段)	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与する。・65歳以上及び身体障害者手帳等を所有する市民に対し、指定温泉保養施設等利用料の半額(年間20枚の助成券を交付)を助成。・高齢社会を支える上で大きな役割を担っている老人クラブに対し、高齢者の生きがいと健康づくり、福祉の向上のために助成することにより、各種活動の育成、支援を行う。・安否確認のため、手渡し等による祝品配付を行う。・健康長寿ふれあいまちづくり推進委員会委員報酬、高齢者福祉全般にかかる制度周知等
	対象者数	27,795 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園(263区画)を262人に貸与した。(平成26年3月31日現在)毎月、一か月分の利用券を取りまとめ、補助金受領を代行する各温泉保養施設に補助した。市連合長寿会に対する支援(会員及び各区、単位クラブに対する活動助成)米寿の方には民生児童委員のご協力を得て、訪問し安否確認とともに祝品を贈呈						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
成果指標	農園利用区画数	区画	目標値	263	263	263	263
			実績(見込)	259	262	262	
活動指標	温泉保養施設等利用券交付者数	人	目標値	10,100	11,700	12,000	12,000
			実績(見込)	11,264	11,285	11,473	
成果指標	連合長寿会加入率	%	目標値	40	40	40	40
			実績(見込)	38	37	37	
成果指標	老人祝品贈呈者数	人	目標値	640	657	633	677
			実績(見込)	640	620	616	
補足	算出根拠等	目標値					
		実績(見込)					
算出根拠等	達成率(%)						
	目標値						
算出根拠等	実績(見込)						
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	・現状の区画数を越えるニーズではない。・現在のコストは低く抑えられているが、事務の効率化を図る必要がある。・事務の省力化とコスト抑制、補助単価の見直し等を検討する必要がある。・高齢者数の増加に対し、新規加入者が少なく、連合長寿会加入率の減・単位クラブの減が課題となっている。健康で生きがいを持って生活するために、地域とのつながりも深めながら、連合長寿会への加入メリットを生かした活発な活動に向けた取り組みが必要である。長寿高齢者の増と敬老の主旨に見合った祝品の選定等について検討が必要である。・高齢者福祉施策の制度周知を行い、高齢者の見守り等の支援につなげている。
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	・農園長と連絡を密にしながら、空き状況や農園維持管理状況を随時確認し利用を促す。・施設により補助単価が異なっているため、補助単価(補助率)の見直しを検討する。・アンケート調査等により事業の効果検証を行なう。利用券の支給枚数・様式の改善を検討する。・長寿会加入率・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、今後の支援のあり方について検討する。・民生児童委員等の協力を得ながら、高齢者の安否確認も併せて、引き続き祝品を贈呈する。・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」・「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。	
	次年度の実施方針	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討
二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・高齢者の健康増進や介護予防の効果が期待できるため、引き続き事業を継続する。・利用券及びその交付方法についてよりコストを引き下げること検討し、あわせて市民への周知を行い事業を実施する。・本補助金を有効に活用するため、老人クラブにおける活動内容の見直しを進めながら事業継続し、組織の育成と活動の支援を行う。対象者の安否確認も合わせて、長寿高齢者の増と主旨に見合った事業費で事業を実施する。・高齢者福祉に関する制度等をまとめた「高山市の高齢者福祉」・「福祉と保健」等を活用し、引き続き市民への制度周知に努める。
二次評価	○維持・改善 拡大 縮小 廃止検討	・より優先すべき施策へ財源を振り替えるなど、廃止を含めた見直しの検討が必要である。・会員数・クラブ数は減少傾向にあり、事業効果が高齢者全体に及んでいないようになってきていることから、今後の支援のあり方について検討する必要がある。・引き続き実施方法の改善等を検討する必要がある。・引き続き適正な事務の執行に努める必要がある。

コスト面

コスト指標	事業費(人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	34,827	35,026	35,641	37,902
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	1,379	1,345	1,333	1,364
	受益者	(B)	25,251	26,038	26,737	27,795

5 予算編成(Action2)

事業内容	・60歳以上の農地を持たない高齢者に対し、5か所の農園を無償で貸与(岡本・下岡本・江名子・三福寺・千島)・市が指定する温泉保養施設の利用料に関する助成 ・高齢者の生きがいと健康づくり、また高齢社会を支える上で大きな役割を担っている高山市連合長寿会の加入組織、加入者に対する活動費の助成及び単位老人クラブの各種活動に対する助成。 ・敬老祝品の贈呈 ・高山市老人福祉計画・介護保険事業計画の策定、推進 ・関係機関との連携調整	要求のポイント	・老人健康農園の農機具及び設備等老朽化による修繕費など管理運営に要する経費を計上 ・高齢者の増に伴う対象者の増	事業実施の課題	・単位老人クラブ数の減
------	--	---------	--	---------	-------------

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	35,641	37,902	2,261	34,645	34,645	・積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金		0				
県支出金	4,637	4,700	63	4,644	4,644		
その他	1,730	1,590	△140	360	360		
一般財源	29,274	31,612	2,338	29,641	29,641		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31320	高齢者等住宅改造成事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画		市長公約
	種別			款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健	実施計画事業	
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円		
				目	3	老人福祉費		施策概要	1				住み慣れた地域での生活の支援

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	住宅改修(要介護(支援)認定者 屋根雪除雪:制 族等から屋根雪の除排雪の支援が得られない高齢 者世帯	どうしたい のか (意図)	高齢者が居住する住宅の改修費用及び屋根融雪装置設置費用の一部を補助することにより、日常生活に支障の少ない住宅整備を促し、住み慣れた住宅で安心して健やかな生活ができるように生活維持向上と自立の助長を図る。	概要	事業の実施 手法(手段)	高齢者世帯等の住宅改修及び屋根融雪装置等に対する補助 (相談業務及び完成検査は福祉サービス公社の委託による)
	対象者数	26,737 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	住宅改修 58件、住宅改修1割助成 183件、屋根融雪 2件 実施						
活動指標	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	要介護(支援)認定者数	人	目標値	4,732	4,922	5,105	5,176
成果指標	算出根拠等	要介護(支援)認定者数(10/1現在及び計画)	実績(見込)	4,637	4,795	4,969	
	達成率(%)		98	97	97		
成果指標	助成件数	件	目標値	300	300	300	300
	算出根拠等		実績(見込)	249	243	291	
成果指標	達成率(%)		83	81	97		
	算出根拠等		目標値				
成果指標	実績(見込)						
	達成率(%)						
成果指標	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
成果指標	達成率(%)						
	算出根拠等		目標値				
成果指標	実績(見込)						
	達成率(%)						
補足	算出根拠等		目標値				
	実績(見込)						
補足	達成率(%)						
	算出根拠等		目標値				
補足	実績(見込)						
	達成率(%)						

3 分析・評価(Check)

分析・評価で 明らかになった課題	<ul style="list-style-type: none"> ・施行技術等の多様化により、市民が新たに補助対象として求めるものも出てきているため、事業の目的に適したものかどうかの検討が必要である。 ・高齢者の増加に伴い、助成額の増加も見込まれるため、補助金の適正な運営をしていくに当たり、受益者負担等について検討していく必要がある。
---------------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対する H26対応状況	<ul style="list-style-type: none"> ・制度の積極的な周知を行う。 ・新たに補助対象とすべきかの検討については、事業の目的との適合性、その有効性を検証したうえで対応していく。 ・受益者負担等の検討については、経済情勢や低所得者等への配慮を踏まえつつ慎重に対応していく。 	
次年度の 実施方針	○ 維持・改善	高齢化の進展により、本事業のニーズの増大が予想されるため、制度の積極的な周知に引き続き取り組んでいく。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次 評価	○ 維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト 指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)	H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)	(A)	28,622	23,380	35,830	36,118
	受益者1件当たり(円)	(A/B)	114,948	96,214	119,433	120,393
	受益者 助成対象者数	(B)	249	243	300	300

5 予算編成(Action2)

事業内容	<ul style="list-style-type: none"> ・介護保険の住宅改修の助成範囲を超える住宅改修費に対する助成 ・屋根融雪装置の設置に対する助成 	要求の ポイント	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加による助成件数の増 ・平成27年8月より一定の所得がある方の利用者負担が2割に変更することに伴う助成額の増 	事業実施の 課題	<ul style="list-style-type: none"> ・高齢者の増加に伴う助成額の増加が見込まれ、適正に事業を実施するため、受益者負担の在り方について検討していく必要がある。
------	--	-------------	---	-------------	--

事業費(人件費除く)	H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)	35,830	36,118	288	32,830	32,830	積算内容を精査	・財務部査定のとおり
財源内訳							
国庫支出金			0				
県支出金			0				
一般財源	35,830	36,118	288	32,830	32,830		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31335	老人福祉施設整備費助成事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約
	種別			3	民生費	4		福祉・保健	実施計画事業		老人福祉施設整備費助成事業	
担当課	福祉部 高年介護課		内線	項	1	社会福祉費	基本分野	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円	
	2932	目		3	社会福祉費	施策概要		1	住み慣れた地域での生活の支援			

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	社会福祉法人	どうしたいのか(意図)	・社会福祉法人が行った特別養護老人ホーム整備費用の助成を行い高齢者福祉の充実を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	・特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助する。
	対象者数	1人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	特別養護老人ホーム新宮園の整備に対する元利償還金を社会福祉法人清徳会へ補助した。							
成果面	指標名		単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
	成果指標	施設入所者数	人	目標値	100	100	100	100
				実績(見込)	100	100	100	
				算出根拠等	達成率(%)	100	100	100
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
				算出根拠等	達成率(%)			
				目標値				
				実績(見込)				
算出根拠等				達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
			目標値					
			実績(見込)					
			算出根拠等	達成率(%)				
補足								

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	
-----------------	--

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	本人や介護者の状況に応じ、優先度の高い者から入所決定するよう指示する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	債務負担により引き続き補助を行うことにより、特別養護老人ホームの健全な運営を図る。
	拡大	
	縮小	
	○維持・改善	(担当課評価に同じ)
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	123,971	33,642	12,540	12,255
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,239,710	336,420	125,400	122,550
	受益者	施設入所者	(B)	100	100	100	100

5 予算編成(Action2)

事業内容	・特別養護老人ホーム新宮園の施設整備費の助成(債務負担行為)	要求のポイント	事業実施の課題
------	--------------------------------	---------	---------

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		12,540	12,255	△285	12,255	12,255	・要求どおり	・財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他			0				
	一般財源	12,540	12,255	△285	12,255	12,255		

平成27年度 事業別予算概要

事業名	31345	老人福祉施設管理事業費	予算	会計	1	一般会計	基本目標	4	やさしさにつつまれ健やかに暮らせるまち	根拠計画	高山市老人福祉計画・第6期介護保険事業計画	市長公約	市民が主役のまちづくりにおいては、高齢者世代(65歳以上)という呼称を「生涯現役世代」という呼び方に改革し、様々な活躍の場を提供します。
種別				款	3	民生費		基本分野	4		福祉・保健		
担当課	福祉部 高年介護課	内線		項	1	社会福祉費	分野	3	高齢者福祉	H27実施計画額	千円		
		2932		目	3	老人福祉費	施策概要	6	地域や社会参加の推進				

1 事業の目的・概要(Plan)

目的	誰を(対象)	老人福祉施設利用者	どうしたいのか(意図)	老人福祉施設の適切な運営及び維持管理することで、老人福祉施設利用者等の安全快適な施設利用の促進を図る。	概要	事業の実施手法(手段)	老人デイサービスセンター、老人福祉センター、老人いこいの家の運営、維持管理業務を指定管理者に委託。施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新。
	対象者数	33,639 人					

2 事業の推移・結果(Do)

H25実績	指定管理料:高山市老人デイサービスセンター等 62,916,000円、国府福祉センター 9,110,000円、高山市丹生川・久々野・国府いこいの家 5,175,150円、昭和老人福祉センター(福祉課) 7,300,000円 計 84,504,000円 土地借上料:丹生川福祉センター分 606,000円 消耗品:消火器119本更新 器具修繕:丹生川福祉センター冷温水機修繕 施設改修:久々野福祉センタートイレ洋式化改修工事 ほか2件 備品購入:国府福祉・デイ電話設備更新						
	指標名	単位	目標・実績	H24	H25	H26	H27
活動指標	施設数(指定管理)	か所	目標値	23	23	23	22
			実績(見込)	23	23	23	
成果指標	算出根拠等		達成率(%)	100	100	100	
			目標値	50,000	50,000	50,000	50,000
成果指標	福祉センター施設延べ利用者数(老人いこいの家含む)	人	実績(見込)	50,611	49,722	50,000	
			達成率(%)	101	99	100	
成果指標	算出根拠等		目標値	10,000	10,000	10,000	10,000
			実績(見込)	10,823	10,330	10,000	
成果指標	国府福祉センタートレーニング室延べ利用者数	人	達成率(%)	108	103	100	
			目標値				
成果指標	算出根拠等		実績(見込)	68,516	66,269	67,000	
			達成率(%)				
成果指標	モニタリング調査による各施設の管理運営の満足度(平均値)	%	目標値	80	80	80	80
			実績(見込)	94	92	80	
補足	算出根拠等	調査結果による普通以上の満足度	達成率(%)	117	115	100	
			目標値				
			実績(見込)				
			達成率(%)				

3 分析・評価(Check)

分析・評価で明らかになった課題	指定管理により事業効率化やコスト削減等が図られており、民間に蓄積されたノウハウを活かした円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理が今後必要である。 施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にある。
-----------------	---

4 今後の方向性(Action)

課題等に対するH26対応状況	指定管理業務のモニタリング調査や事業評価を実施する中で、円滑な運営によるサービスの提供や効率的な施設管理に努めている。 施設の老朽化を調査し、修繕計画の策定を策定する。	
次年度の実施方針	○維持・改善	高齢者の増加に伴い施設利用の増加が見込まれる中、地域の老人福祉の増進の観点から、引き続き実施していく必要がある。 安全対策及び利便性の向上を図るため、整備計画に基づき施設の改修を行う。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	
二次評価	○維持・改善	(担当課評価に同じ) 整備計画を早急に策定する必要がある。
	拡大	
	縮小	
	廃止検討	

コスト面

コスト指標	事業費 (人件費を除き、繰越・補正を含む)		H24 決算額	H25 決算額	H26 予算額	H27 予算要求額	
	歳出(千円)		(A)	97,802	108,707	230,422	122,580
	受益者1件当たり(円)		(A/B)	1,592	1,810	3,840	2,043
	受益者	福祉センター等施設+トレーニング室延べ利用者数	(B)	61,434	60,052	60,000	60,000

5 予算編成(Action2)

事業内容	・老人福祉施設の適切な運営及び維持管理 ・施設の維持管理・改修、老朽化による備品更新	要求のポイント	・向陽園デイサービスセンターの廃止(H27.4~) ・老人福祉施設の運営及び修繕	事業実施の課題	・施設の老朽化により改修箇所が増加傾向にあるが、計画的に改修することで、施設のより一層の利用促進が必要
------	---	---------	---	---------	---

事業費(人件費除く)		H26当初予算額	H27予算要求額	増減	財務部査定額	市長査定額	財務部査定の考え方	市長査定の考え方
歳出(千円)		90,136	122,580	32,444	103,436	103,436	積算内容を精査	財務部査定のとおり
財源内訳	国庫支出金			0				
	県支出金			0				
	その他	807	823	16	823	823		
	一般財源	89,329	121,757	32,428	102,613	102,613		